LIXIL
INAX

保証書付

コーナー手洗キャビネット

温水自動水栓タイプ	自動水栓タイプ	ハンドル水栓タイプ
GL-D201UCCWE GL-D201UCCWJ	GL-D201UCCAE GL-D201UCCAJ	GL-D201CCHE GL-D201CCHJ

取扱説明書

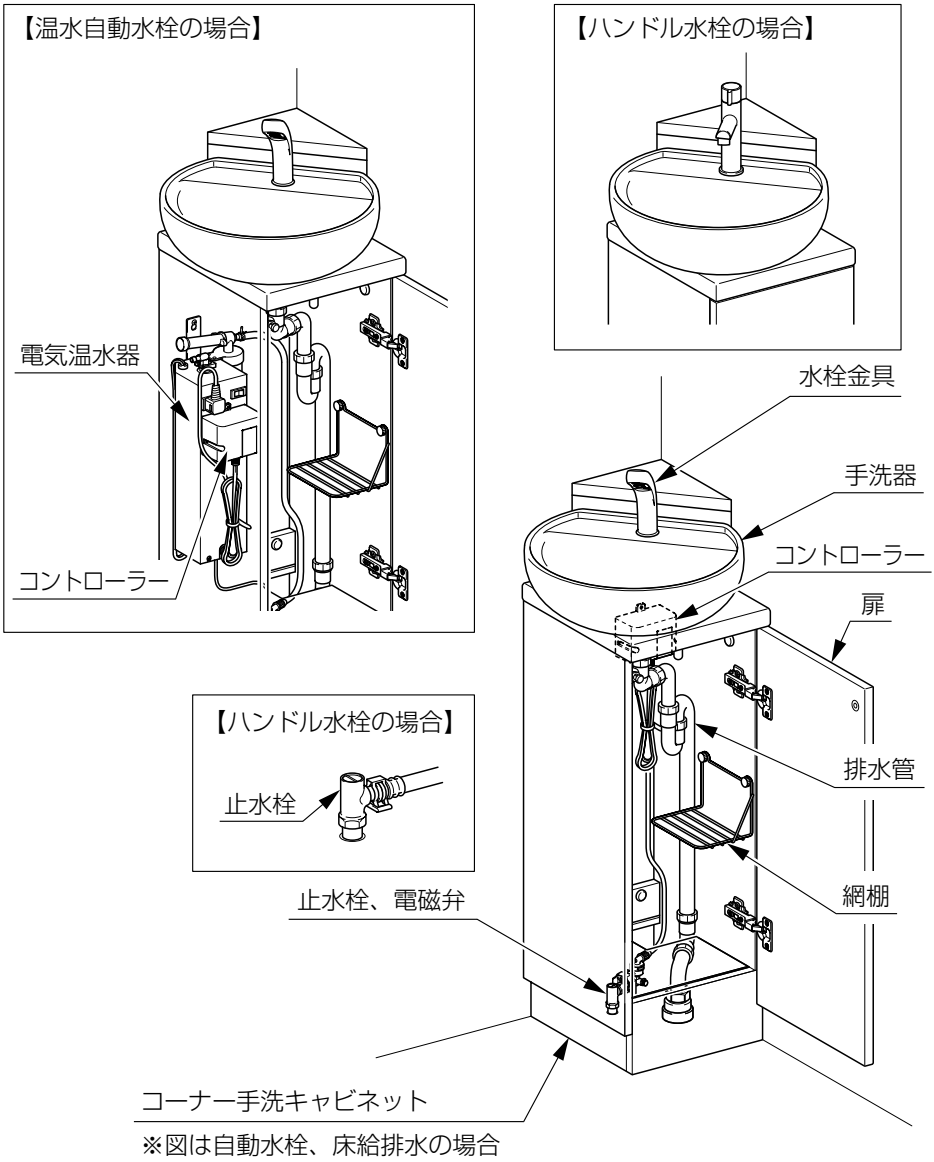
**このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。**

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

もくじ

各部の名称 …… 2
安全上のご注意 …… 3
使用時のご注意 …… 8
特長 …… 9
ご使用方法 …… 10
お手入れ方法 …… 12
長くお使いいただくために …… 16
　1．吐水口からの水量が少なくなったと感じたら …… 16
　2．排水が遅いと感じたら …… 18
　3．扉の調節方法 …… 19
長期間使用しない場合 …… 21
修理を依頼される前に …… 24
アフターサービスについて …… 25
仕様 …… 26
保証書 …… 27

●各部の名称



※図は自動水栓、床給排水の場合

●安全上のご注意（お使いになる前に必ずお読みください。）

●ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 .....「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 .....「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

.....「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止

……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

指示実行

……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※感電・火災、故障の原因となります。

分解禁止

水道水以外に接続しないでください。
※機械内部の腐食により破損や漏れ、感電、火災、故障の原因になります。

禁止

商品が破損したり、ガタついたり、あるいは取付けがゆるんだ状態でのご使用はしないでください。すぐにお取替や修理依頼してください。
※感電・火災、故障の原因となります。

禁止

⚠警告

交流100V（50/60Hz）以外では使用しないでください。
※発火、ショート、感電の原因となります。（自動水栓の場合）

水栓が破損した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
※そのまま使用すると発火、ショート、感電の原因となります。
（自動水栓の場合）

電源プラグを濡れた手で触れないでください。
※感電の原因になります。（自動水栓の場合）

雷が発生しているときは、電源プラグにさわらないでください。
※感電の原因になります。（自動水栓の場合）

電源プラグに付着したほこりは定期的にふき取ってください。その際は電源プラグを抜き、乾いた布でふき取ってください。
※絶縁不良により火災の原因になります。（自動水栓の場合）

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※発火、ショート、感電の原因となります。（自動水栓の場合）

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差込みがゆるいときは使用しないでください。
※発火、ショート、感電の原因となります。（自動水栓の場合）

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、感電、火災、故障の原因になります。
（自動水栓の場合）

水につけたり、水をかけないでください。
※発火、ショート、感電、故障の原因となります。
（自動水栓の場合）

⚠警告

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※感電、火災の恐れがあります。（自動水栓の場合）
※腐食・カビ発生の恐れがあります。

酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、商品を拭かないでください。またこれらの溶剤や油類を流さないでください。
※発火、ショート、感電、故障の原因となります。（自動水栓の場合）
※変色や変形の恐れがあります。（溶剤がつくと跡が残ることがあります。）
※排水管、排水アダプターが破損する恐れがあります。

小さいお子さまだけでの使用は避けてください。
※ヤケドやケガをする恐れがあります。
（温水自動水栓の場合）

通水温度は45℃以上にしないでください。
なお、誤動作などによるヤケド防止のため、40℃以下をおすすめします。
※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。
（温水自動水栓の場合）

商品の上に火のついたタバコ等を置かないでください。
※火災の恐れがあります。

ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

⚠注意

感知領域内に障害物が入らないようにしてください。
※誤動作し、予期しない事故の原因となります。
（自動水栓の場合）

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
※誤動作や故障などによる、予期しない事故の原因となります。（自動水栓の場合）

棚に物品を過剰にのせないでください。
※破損や落下によるケガの恐れがあります。
（棚の許容積載質量は10㎝×10㎝（100㎠）あたり0.5Kg以下です。）

扉は静かに開閉してください。
※商品が破損し、ケガをする恐れがあります。

商品にもたれたり、たたいたり、強い衝撃をあたえたり、固いものをぶつけたり、冷水・熱湯などをかけたりしないでください。
※商品が破損してケガをしたり、漏水のため家財を汚す原因になることがあります。

扉にぶらさがったり、大きくあけすぎないでください。
※扉が外れてケガをする恐れがあります。特に、小さいお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

扉が傾いたり、ガタついている時は、蝶番のねじを締めなおしてください。
※扉が落下し、ケガをする恐れがあります。
（扉の調節方法は19～20ページ参照）

キャビネット内部に水をこぼさないでください。
※床へ漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
※木が水を含み傷む恐れがあります。

⚠注意

ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。
※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

凍結が予想される場合は、水を抜いてください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

陶器に熱湯を注がないでください。
※陶器が破損してケガをしたり、漏水のため家財を汚す原因になることがあります。

陶器に硬いものを落とさないでください。
※陶器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財を濡らす原因になることがあります。

陶器にひびが入ったままで使用しないでください。
※陶器が割れてケガをする恐れがあります。

陶器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。
※破損部でケガをする恐れがあります。

キャビネットはぬれたまま放置しないでください。
※木が水を含み、傷む恐れがあります。

鉛筆、ボールペン、クシ、歯ブラシなどを誤って手洗器排水口に落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出してください。
※排水管が詰まり排水があふれる恐れがあります。

●使用時のご注意

故障をおこさないためにお守りください

洗剤類を収納棚内で保管する場合は、必ず容器のキャップをしっかり閉めてください。
※洗剤の液漏れや気化により、収納棚を侵し、腐食やヒビ割れ、変色などの原因になります。

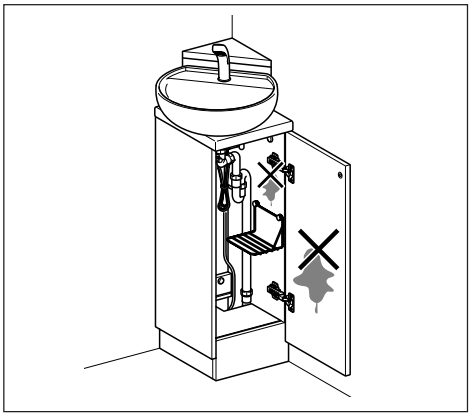
トイレブラシに付着した洗剤は十分に取り除いてからケースに収納してください。
※洗剤の液付着や気化により、金物類が腐食し破損する恐れがあります。

直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の恐れがあります。

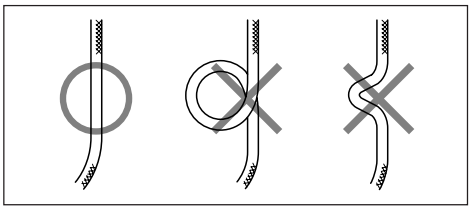
●ぬれた場合はそのまま放置せず、すぐにふき取ってください。
※木が水を含み、ふくらんだり、表面がはがれる恐れがあります。

●直射日光が当たる場合は、カーテンなどでさえぎってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変形や変色の恐れがあります。

●キャビネット内部は汚れた状態で放置しないでください。
※においやカビ、サビの原因になります。



●ホースを無理に曲げないでください。
※ホースが破損し漏水の原因になります。



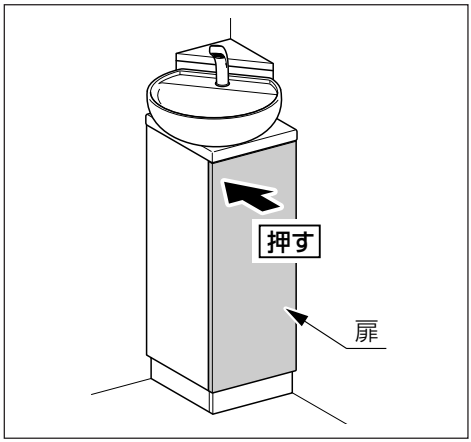
●特長

●この商品は、コーナーに設置してトイレ空間を有効に活用する手洗器付キャビネットです。
●吐水口に手を差し出すと、赤外線センサーが手を感知し、自動で吐水、止水を行います。（自動水栓タイプの場合）
●自動で止水するため、無駄な水を流すことがありません。さらにトイレ空間を演出する、ほのかライト付です。（自動水栓タイプの場合）

●ご使用方法

●キャビネット扉の開閉

扉はプッシュラッチで開閉します。
図の矢印部を押して開閉してください。

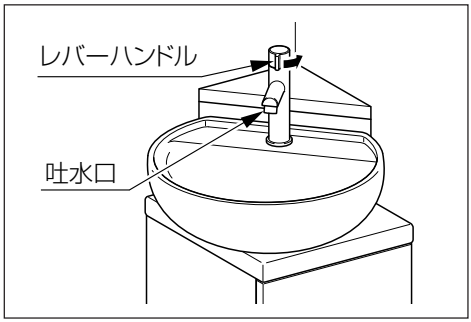


●水栓金具

【ハンドル水栓の場合】

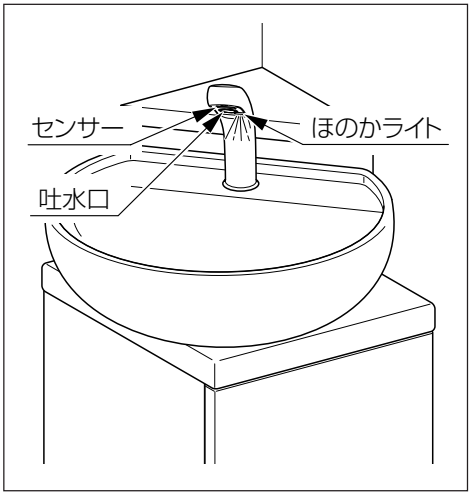
レバーハンドルを右方向に回すと吐水します。

※流量が多すぎる場合は、P11 の止水栓の操作方法を見て流量を調節してください。



【自動水栓の場合】

センサーに手を差し出すと吐水し、ほのかライトが点灯します。
手を引くと約１～２秒後に止水した後、ほのかライトが消灯します。



⚠注意

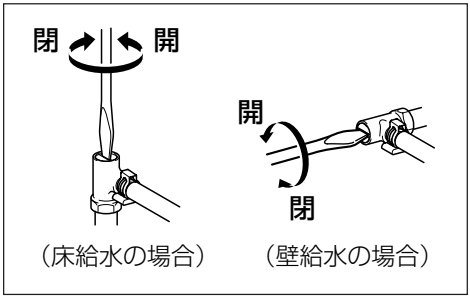
吐水口をふさいだ状態でのご使用はおやめください。

※吐水口部から水が侵入し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

●止水栓の操作方法

ハンドル水栓の場合は、設置時にあらかじめ水量調節がしてあります。吐水流量を調節したり、止めたい場合は、キャビネット扉を開きマイナスドライバー等で止水栓を調節してください。
（止水栓は底板の下にあります）
自動水栓、温水自動水栓の場合は、止水栓ソケット部に定流量弁が入っていますので、止水栓を一定以上開いても、吐水量は変わりません。

※使用上限流量は 4L/min です。
使用上限流量以上で使用されますと、排水トラップ内の水が破封する恐れがあります。



（床給水の場合）　（壁給水の場合）

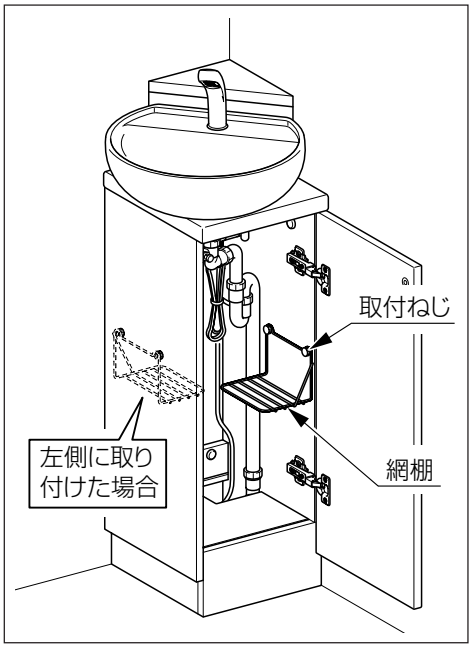
●網棚の使用方法

キャビネット内の網棚は、収納するものに合わせて左右どちらかに取り付けられます。

※温水自動水栓タイプの場合は動かすことはできません。

（1）取付ねじをゆるめて、網棚を取り外します。
（2）収納するものに合わせて位置を変え、取付ねじを付け直し、網棚を固定します。

※網棚には5Kg以上のものを置かないでください。



●お手入れ方法　日ごろのお手入れ

手洗器やキャビネットは手入れをせず放置しておきますと､光沢を失うばかりでなく部品によっては使用に不具合を生じることにもなりかねません。常日頃からこまめにお手入れをしてください。

●キャビネット

●汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
汚れがひどいときは薄めた中性洗剤をしみ込ませた布でふき､そのあとすぐ水ぶきをし、乾いた布で水分をふきとってください。

⚠注意

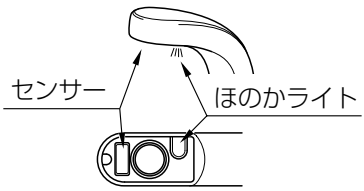
酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、キャビネットを拭かないでください。
※変色や変形の恐れがあります。（溶剤がつきますと跡が残ることがあります。）

●ぬれた場合は、そのまま放置せず、すぐにふき取ってください。
※木が水を含み、ふくらんだり、表面がはがれる恐れがあります。

●水栓

●水栓やセンサー､ほのかライトの表面の汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
それでも落ちないときは､水ぶきし､最後に乾ぶきしてください。

（自動水栓、温水自動水栓の場合）



注意

吐水口部やセンサーの表面を傷つけたり、侵したりする恐れのあるものは使用しないでください。

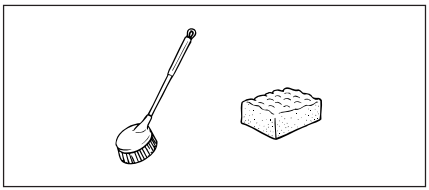
- クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- シンナー、ベンジン等の溶剤
- 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、パイプ用の洗浄剤類
- ナイロンたわし、ステンレスたわし、ブラシ等

※ヒビ割れや変色の原因となります。まちがって使用した場合は、すぐに水洗いしてください。
※センサーの表面に汚れやキズがつくと、感知距離が短くなったり、感知しなくなる恐れがあります。

●酸性・アルカリ性の洗剤は本体の変形、変色、故障、性能劣化の原因となりますので使用しないでください。また、掃除で酸性洗剤等を使った場合などはすぐに本品を十分水洗いしてください。
●メラミンフォームをご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
●壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。

●手洗器

●手洗器のお手入れは以下の洗剤・道具をおススメします。
- 中性洗剤
- けんま剤なしの洗剤
- けんま剤なしのスポンジ



●熱湯を手洗器に注ぎますと割れることがありますのでおやめください。
※ガラス質を侵すフッ素化合物入の洗剤は表面が侵されますのでお使いにならないでください。

●表面の変色や変質の原因になる以下のものは使用しないでください。
- 中性洗剤以外の洗剤
- 酸、アルカリ
- 熱湯
- クレンザー、磨き粉
- シンナー、ベンジン等の溶剤
- 金属たわし、硬いブラシ、硬い布
- けんま剤入りの洗剤
- けんま剤入りのスポンジ

●当商品は、抗菌製品技術協議会のSIAAマークに適合したKILAMIC抗菌仕様商品です。SIAAマークは、抗菌製品技術協議会の「安全性と抗菌性能などのガイドライン」に沿って品質管理された製品に表示されるマークであり、情報公開されています。

- KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。
- KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。

■知っておいてください

●手洗器の平坦なところについたしずくや汚れが水玉となって、目立つように感じられることがあります。

従来の手洗器では水をはじく効果が弱いため、付着した汚れが広がってわかりにくくなり、洗い残しが生じました。

しかしプロガードなら汚れに気づきやすくお手入れができますので、清潔好きの方にも安心です。

はじかなくなっても、水アカ防止効果は保たれています。

●プロガードは水をはじくのが特徴ですが、使い続けるとその効果が薄れていきます。その場合でも水アカ防止効果は保たれています。

どうぞご安心ください。

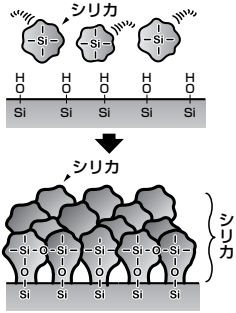
■じょうずなお手入れ方法　～プロガードは、おそうじがラクです～

シリカがつきやすいところにプロガード加工してあります。

シリカとは、水道水（洗浄水）の中に含まれる溶性ケイ酸（土壌成分に由来する無毒の鉱物）のことです。衛生陶器の表面で化学反応して石のように硬く結びついてしまいます。

もともとは、ツルツルだった表面に、数ヶ月もすればどんどんシリカが固着します。ミクロのレベルでザラザラ・ガサガサになって、ほかの汚れまでヤスリのように引っかけてしまいます。

やがては、鉄分やトイレの汚物まで取り込んで、目にもハッキリ見えるイヤな汚れに。こうなると、もう通常の手入れでキレイにお掃除することは不可能です。



●樹脂製の柔らかいスポンジブラシなどで、軽くこする程度で十分です。

※少量の中性洗剤ですみます。（強力な洗剤は不要です）

●プロガードはシリカの固着を防止するものです。プロガード表面に汚れがつくことがあるので、定期的におそうじをしてください。

プロガードの効果持続期間について

適切なお手入れ方法を守っていただければ、プロガードの効果は、使用開始から毎日お掃除をしても15年間は持続します。

効果持続期間は、清掃頻度などの使用状況によって異なります。表記期間を保証するものではありません。

「持続期間15年間」の算出は以下の条件によっています。

●洗面器掃除は毎日。
●1回につきプロガード加工面を往復2回こする。
●この掃除頻度で、15年経過。
　2回×365日×15年
　≒10,000回の磨耗回数

■リフレッシュサービスのご案内

～プロガード効果が低下したら再加工をおすすめいたします～

プロガードの水アカ防止効果が低下した場合、お客さまのご希望に応じてプロガードの再加工を承っております。
リフレッシュ加工の場合、効果は約５年です。
（効果持続期間は清掃頻度によって異なります。表記期間を保証するものではありません。）

LIXILのサービスマンがお客さまのお宅へ訪問して、商品のリフレッシュ清掃とプロガードの再加工を行います。作業時間は１～２時間程度です。

サービス・価格などの詳細は、下記のフリーダイヤルへお気軽にお問い合わせください。

お求めの取扱店または
LIXIL修理受付センター
0120-179-411 全国フリーダイヤル（電話料金無料）
受付時間は保証書をご確認ください。

●排水トラップお掃除時の注意

排水トラップ、テールピースは商品の構造上完全に固定されておらず、さわると多少動きますが、商品の性能には問題ありません。

●長くお使いいただくために

1. 吐水口からの水量が少なくなったと感じたら

●吐水口（泡沫口）のお掃除方法

吐水口にゴミ等が詰まると吐水量が少なくなります。

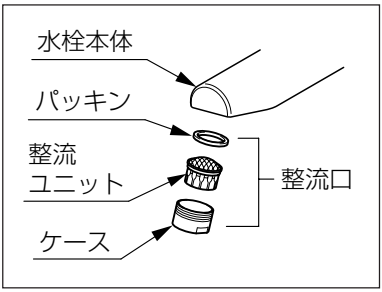
【ハンドル水栓の場合】

■整流口の掃除

吐水口内部のゴミ詰まりは機能を低下させます。ときどき次の要領で掃除してください。

スパナ等の工具でケースをゆるめ、整流ユニットを取り外し、水で掃除してください。

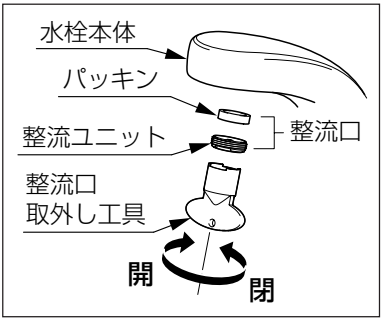
※整流口の取り外しは、直接工具を掛けますと、整流口をキズつける場合があります。必ず、布などを当てて工具を掛けてください。



【自動水栓、温水自動水栓の場合】

■整流口の掃除

付属の整流口取外し工具で整流口を回して取り外し、整流口を水で掃除してください。



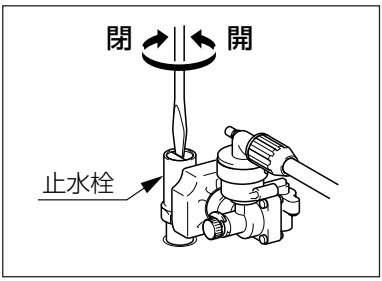
●ストレーナーのお掃除方法　【自動水栓、温水自動水栓の場合】

吐水量が少なくなった場合､ストレーナーのゴミ詰まりが原因として考えられます。以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。

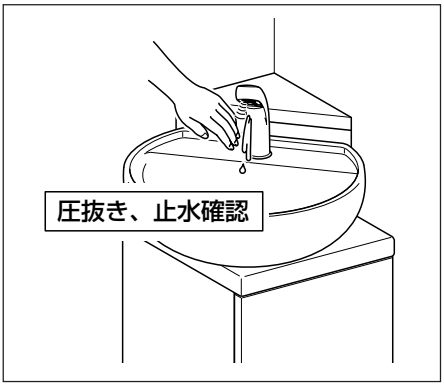
（1）止水栓を右にいっぱい（回らなくなるまで）回して閉じます。

※キャビネット内に吊り下げてある専用工具を使用してください。

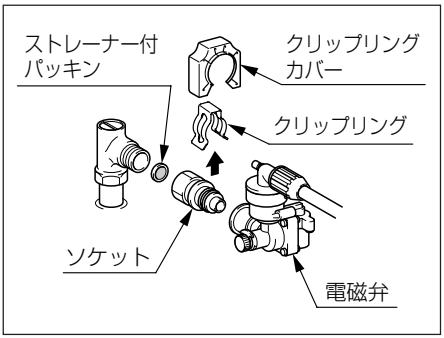
止水栓の操作
開ける　左にいっぱい回す
閉める　右にいっぱい回す



(2)手を差し出し、センサーを感知させ、止水確認、圧抜きをします。



(3) クリップリングカバー、クリップリング、電磁弁を外し、ソケットを外します。ストレーナー付パッキンのゴミ等を洗い流します。

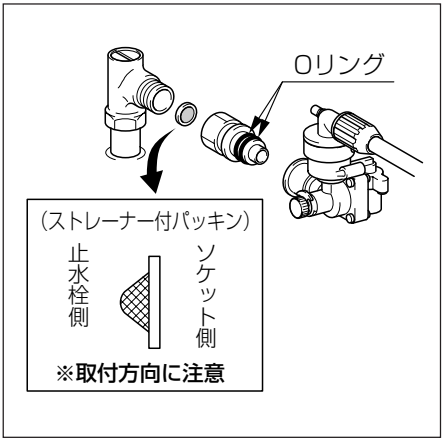


(4)ストレーナー付パッキン、ソケット、電磁弁の順に取り付けます。

※ストレーナー付パッキンは取り付けに方向性があります。ストレーナー網の凸側が止水栓を向くように取り付けてください。

※漏水の原因となりますのでOリングにキズをつけたり、ゴミかみをさせないように注意してください。

禁止



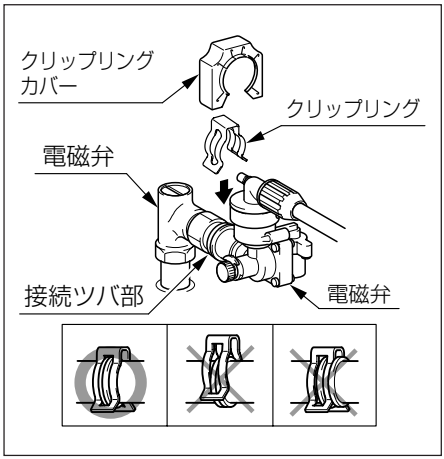
(5)クリップリングを電磁弁とソケットの接続部（ツバ部）にはめ込み、クリップリングカバーを取り付けます。

※漏水の原因となりますので確実に接続されていることを確認してください。

指示実行

(6)ストレーナーの掃除後は止水栓を開けてください。（左にいっぱい回してください）

※止水栓は全開としてください。閉めると異音が発生する場合があります。



2. 排水が遅いと感じたら

●排水管、トラップのお掃除方法

(1)排水管の真下に配管内の封水を受ける雑巾等を置きます。

(2) 排水トラップを取り外し、ゴミを取り除きます。

(3) 排水管の掃除を行った後、再度袋ナットを手で締め付けます。

※袋ナットは手でしっかり締め付けます。締め付けがゆるいと、漏水やトラップの脱落の恐れがあります。

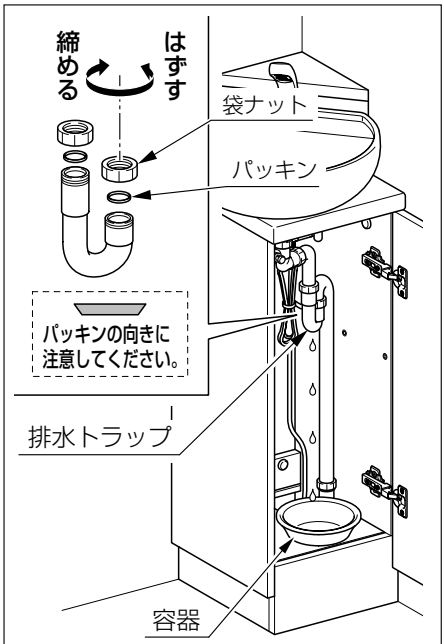
指示実行

※パッキンの入れ忘れや向きを間違うことがないように注意してください。漏水の原因となります。

指示実行

※袋ナットとパッキンのはめ合いは、きつめになっていますので、袋ナットをねじりながらはめ込んでください。

(4) 一度水栓から水を流し、排水管から水が漏れていないことを確認します。

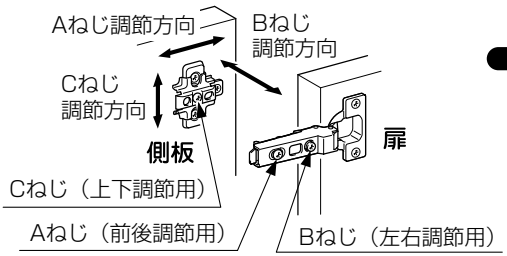


ワンポイント

(4) の確認を怠ると、排水口から下水の臭いが漏れてくることがありますので、必ず一度、水を流してください。

3. 扉の調節方法

スライド蝶番の調節

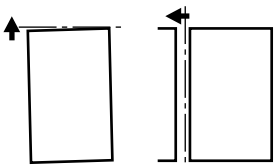


お願い

- 調節する際は＋ドライバーをご用意ください。
- Aねじ、Bねじ、Cねじ以外のねじは絶対にゆるめないでください。
- 調節後はAねじ、Cねじが固く締め付けてあることを確認してください。

● 扉の先端を上げるとき
● 縦のすき間をそろえるとき

※扉の先端を下に下げるときは、下記とは逆の方向に回して調節する。

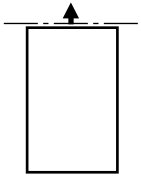


（1）上の蝶番のBねじを左へ回して調節する。または、下の蝶番のBねじを右へ回して調節する。
（2）扉を閉めて確認する。
（3）正しい位置になるまで（1）、（2）をくり返す。

● 扉と側板のすき間が上下違うとき

（1）上下の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にする。
（2）正しい位置でAねじを右へ回して締め付ける。

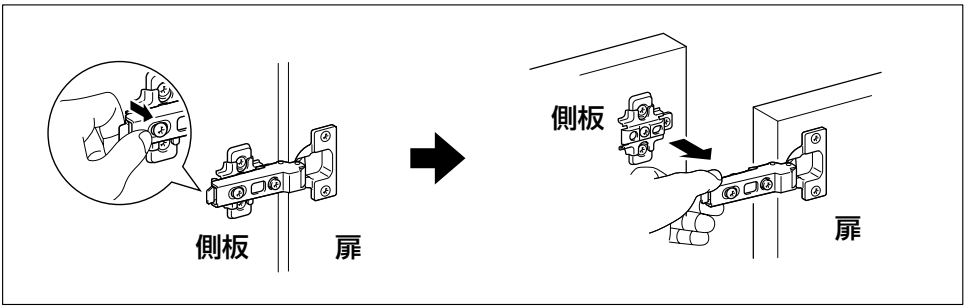
● 扉の高さが上下にずれているとき



（1）上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にする。
（2）正しい位置でCねじを右へ回して締め付ける。

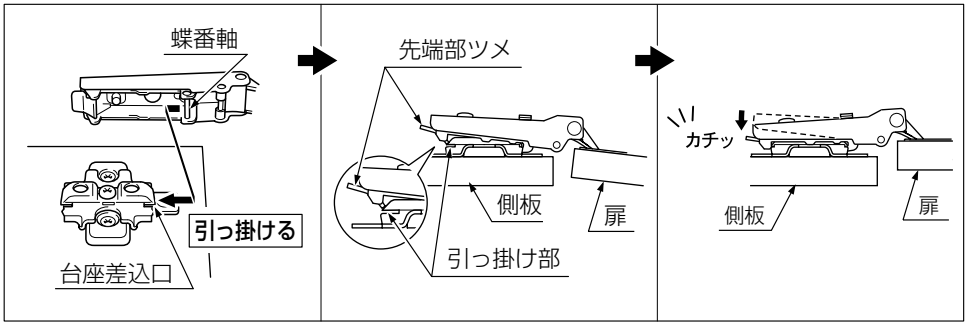
扉の外し方

スライド蝶番のつまみを矢印方向に引き、蝶番を持って取り外します。



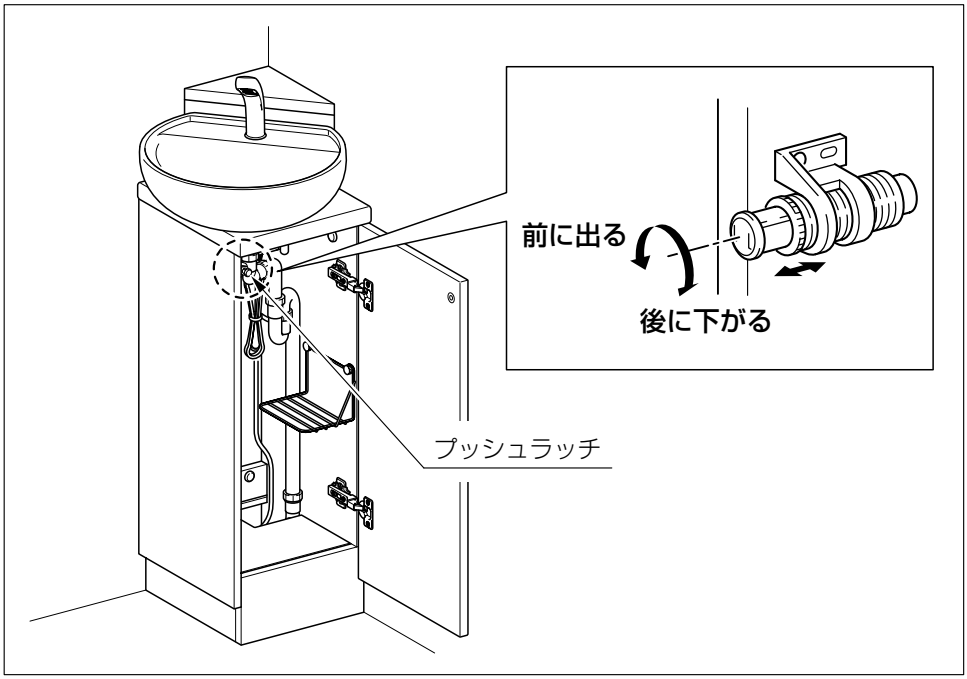
扉の取付方

（1）扉側蝶番の軸を台座差込口に引っ掛けます。
（2）蝶番の先端部のツメを台座の引っ掛け部に合わせ、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



プッシュラッチの調節

（1）扉を開閉してみてプッシュラッチの作動具合を確認します。
（2）必要に応じてプッシュラッチ先端部を前後させて調節します。



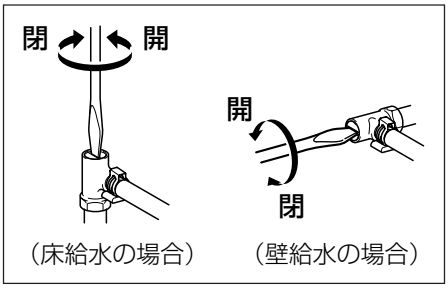
●長期間使用しない場合（本体内の水の汚れや凍結による破損の防止）

■長期間使用しない場合（準備）

●給水の停止および水抜き

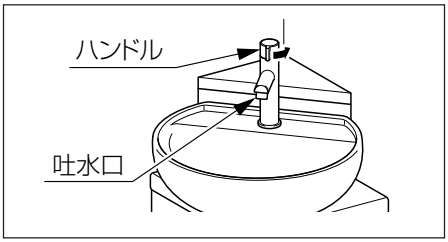
（1）止水栓を操作して、水栓金具への給水を止めます。（止水栓は底板の下にあります）

※このとき最初の位置をマークしておいてください。止水栓は調節してありますので、再使用時、元の位置に戻す必要があります。



（2）凍結の恐れがある地域では、凍結破損防止のため水栓ハンドルを操作して、水栓金具内の水を完全に抜きます。

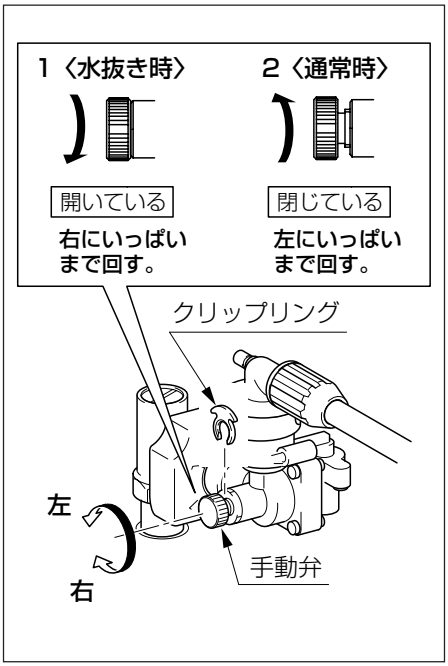
※水抜きは止水栓を開いた状態で配管水抜き後に行います。



［自動水栓の水抜き］

1．配管の水抜き栓を操作する。
2．電磁弁の手動弁に差し込まれているクリップリングを外す。
3．手動弁を右へいっぱい回して水抜きをする。
4．手動弁を左へいっぱい回してもとへ戻す。
5．クリップリングをもとの位置に差し込む。

※再通水直後は電磁弁内部の凍結により、自動水栓が作動しない場合があります。



注意

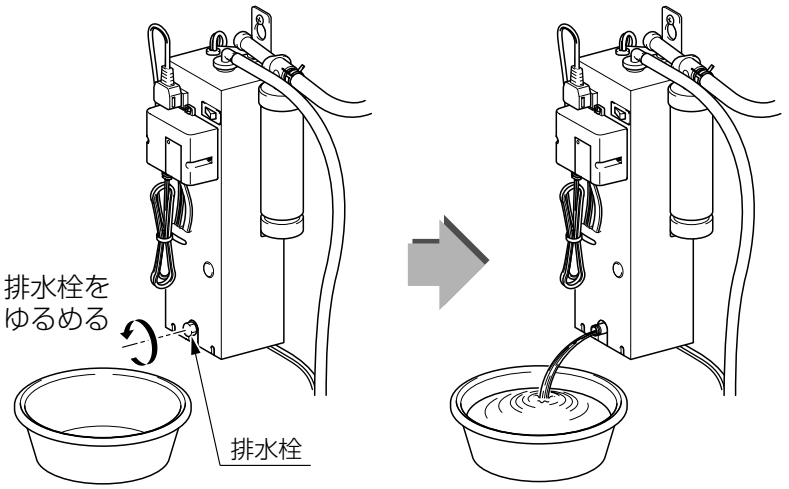
水抜き後は、必ず手動弁を左へいっぱい回してもとへ戻し、クリップリングを差し込んでください。

※右へ回した状態だと、使用時に水が流れっぱなしになります。

［温水自動水栓の水抜き］

施工完了から引き渡しまでに凍結の恐れがある場合は、止水栓を閉め、以下の手順で電気温水器内の水抜きを行ってください。

1．温水器の電源スイッチを「切」にした後、センサーに手をかざして、お湯が水になるまで流し続ける。
2．温水器の電源プラグをコンセントから抜く。
3．配管の水抜き栓を操作する。
4．手おけ、洗面器等の水受け容器を排水栓下に準備し、排水栓をゆっくりと左に回して取り外す。



⚠注意

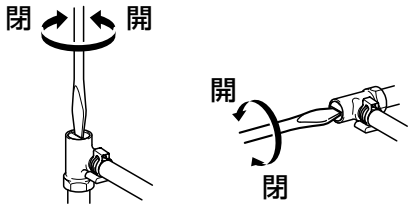
吐水口から出るお湯が、水になっていることを確認してから水抜きを行ってください。
※電源OFF後すぐに排水栓を開けると、高温のお湯によりヤケドをする恐れがあります。

5．水抜き後、排水栓を右にいっぱいまで回して締める。
6．電源プラグをコンセントに差し込む。
7．自動水栓の水抜きをする。作業方法は、前ページの自動水栓の水抜き２～５を参照する。

■再び使用する場合（試運転）

●止水栓を操作して水栓金具への給水を行います。（止水栓は底板の下にあります）
※マークしておいた元の位置に止水栓を調節してください。

●**ハンドル水栓の場合は、**ハンドルを全開にした状態にし、止水栓を回して吐出量が毎分2.5～4L程度になるように調節します。



（床給水の場合）　（壁給水の場合）

●**自動水栓の場合は、**止水栓を全開にしてください。
※流量が適切でない場合は止水栓を調整してください。

●**温水自動水栓の場合**

⚠注意

空だき禁止

電気温水器内の水が空の場合は、電源スイッチを「入」にしないでください。必ず満水にした後、電源スイッチを入れてください。
※機器の破損、ヤケドの恐れがあります。

1．止水栓を全開にする。
2．自動水栓の下に手をかざして、吐水が安定するまで水を出します。
3．電源スイッチを「入」にします。

電気温水器の操作方法は、電気温水器の取扱説明書をご覧ください。

●修理を依頼される前に　故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

部位	現　象	原　因	処　置	参照ページ
キャビネット	扉がガタついている。	・蝶番がゆるんでいる。 ・扉調節金具のねじがゆるんでいる。	・蝶番の増締めをします。増締めをした後、扉がずれていたら調節します。 ・扉のずれを調節します。	19ページ
	扉の先端が上がっている。			
	扉の先端が下がっている。			
	扉と側板のすき間が上下で異なる。			
	扉の位置が上下異なる。			
水栓	吐出量が少ない。（水の勢いが弱い）	止水栓が十分開いていない。	止水栓を左に回して全開にします。	11ページ
		吐水口が詰まっている。	吐水口を掃除します。	16ページ
	水が止まらない。	・電磁弁の手動弁の開き	・電磁弁の手動弁を左へいっぱいまで回してください。	21ページ
		・パッキンの寿命や傷み	・アフターサービスのページをご確認のうえ、ご連絡ください。	25ページ
温水自動水栓	お湯が出ない。	「電源スイッチ」が切れている。	電源スイッチを入れてください。	※
		家庭内のヒューズや漏電ブレーカーが切れている。	確認してください。	※
		過昇防止用安全装置が作動している。	電気温水器の取扱説明書に従って、復帰してください	※
排水口	排水しない、あるいは排水がスムーズではない。	排水口が詰まっている。	排水口を掃除します。	—
		排水管が詰まっている。	排水管を掃除します。	18ページ
排水管	漏水する。	排水管がしっかり締まっていない。	しっかり締めます。	—
		・パッキンの入れ忘れ。 ・パッキンが逆向きについている。	パッキンを正常な向きに入れます。	18ページ
		その他の理由	アフターサービスのページをご確認のうえ、ご連絡ください。	25ページ

※温水自動水栓についての詳細は別途専用の取扱説明書をご覧ください。

上記の処置をしても直らないときは、コンセントプラグをぬいて、お取付店（または取扱店）、またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。

●アフターサービスについて

1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項（P.24）を参照して確認してください。

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ケガをする恐れがあります。

2. 保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

《保証期間中は》

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

- “技術料”＋“出張料”＋“部品代”で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番（収納棚内側の品番ラベルをご確認ください。）
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日

4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低6年保有しています。**この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。**保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

取扱店またはお客さま相談センター（保証書に記載のフリーダイヤルをご利用ください）へお問い合わせください。

●仕様

■仕様表

品番	ハンドル水栓	GL-D201CCHE、GL-D201CCHJ
	自動水栓	GL-D201UCCAE、GL-D201UCCAJ
	温水自動水栓	GL-D201UCCWE、GL-D201UCCWJ
外形寸法（mm）		370×370×990
手洗器		陶器製（プロガード+ハイパーキラミック）
水栓 （給水圧力･定格電源･定格消費電力）	ハンドル水栓	給水圧力0.05MPa（流動圧）～0.75MPa（静水圧）
	自動水栓 （ほのかライト付き）	定格電源AC 100V、定格消費電力2.0W 給水圧力0.05MPa（流動圧）～0.75MPa（静水圧）
	温水自動水栓 （ほのかライト付き）	［水栓金具］ 定格電源AC 100V、定格消費電力2.0W 給水圧力0.07MPa（流動圧）～0.75MPa（静水圧） ［元止め式電気温水器］ 定格電源AC 100V、定格消費電力350W、出湯温度36℃、沸き上がり温度約65℃、沸き上がり時間8分（15℃→65℃）、タンク容量0.8L その他装備： 自動水栓接続用コンセント×1口、膨張水処理機構
手洗キャビネット本体		木質材料 （表面材　WA：PETシート、その他：オレフィンシート） （ケコミ部表面材：ウレタン化粧紙）
手洗キャビネット扉		木質材料 （表面材　WA：PETシート、その他：オレフィンシート）
カウンター		木質材料（表面材：メラミン板）

LIXIL
INAX

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※　品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：　コーナー手洗キャビネット　（品番：　　）			
保証期間	取付日より　2 ヶ年	取付日	年　月　日
お客さま	おなまえ	店名	
	おところ		
	おでんわ （　　）　—	TEL （　　）　—	

無効

お客さまへ

・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはＬＩＸＩＬ修理受付センターにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
(1)用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
(2)指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
(3)お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
(4)専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
(5)建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
(6)経年変化使用に伴う外観上の現像（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
(7)海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
(8)小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
(9)天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障および損傷
(10)戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
(11)自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
(12)消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまり等による故障及び損傷
(13)水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは、水道事業体が供給する上水をいう）
(14)寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
(15)給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
(16)保証書の期限切れまたは提示がない場合
(17)本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

TEL 0120ー179ー400
FAX 0120ー179ー430
※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053
受付時間：平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00
（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターまで

TEL 0120ー179ー411
FAX 0120ー179ー456
受付時間：9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス http://www.lixil.co.jp/

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。